



■ 元気な内野はまさん (98歳)

…渡辺市長が祝いを…



9月15日の敬老の日を中心に、地区ごとに敬老会を行ない、長寿を祝いましたが、今年の最高齢者の内野はまさん(鍛冶町2・98歳)も元気に出席しました。

内野さんは明治6年3月3日生れで、明治、大正、昭和の三代を生き抜きまだまだ元気一ぱいです。

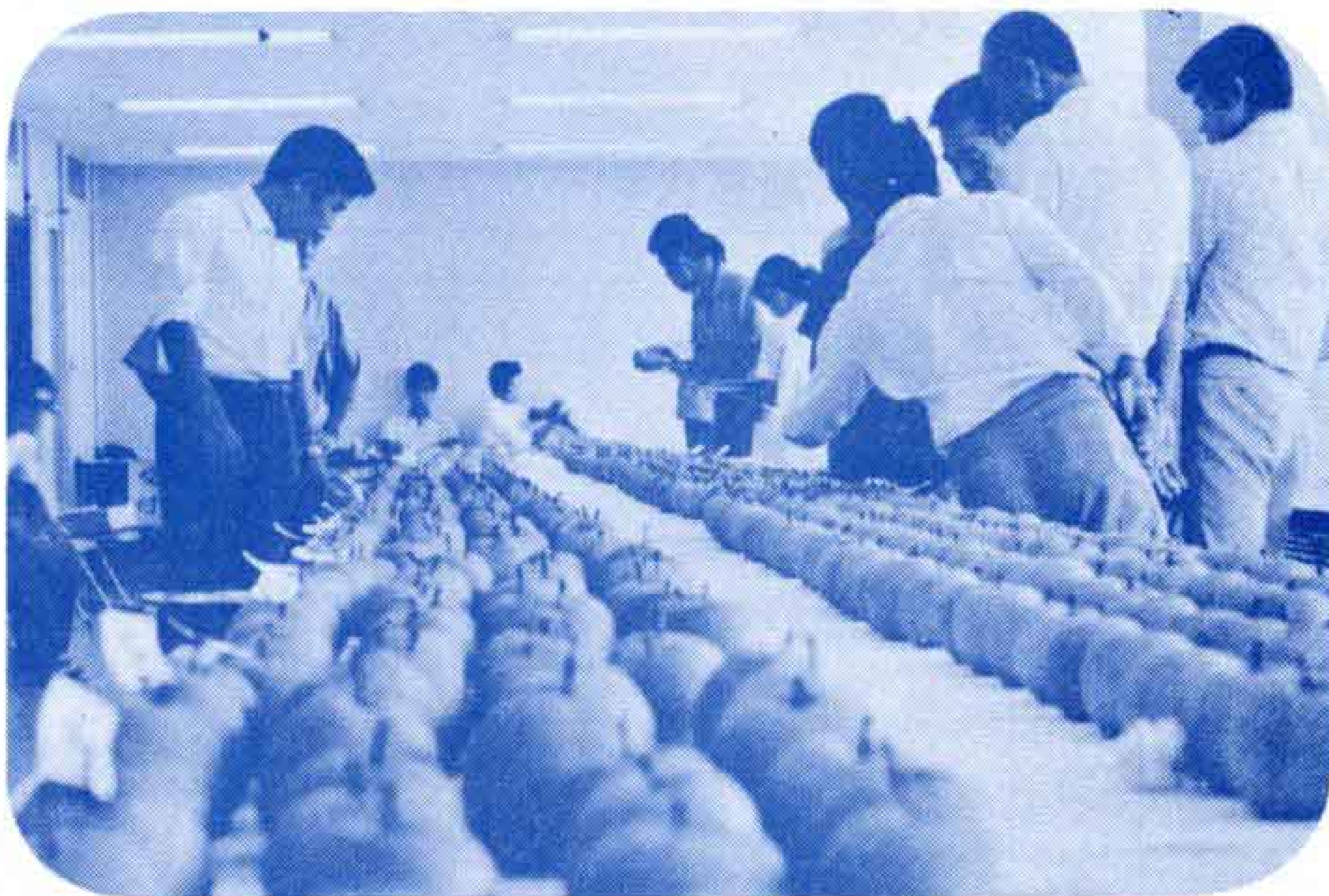
渡辺市長も9月10日に内野さんを訪ね、長寿のお祝いに毛皮のチャンチャンコを贈りました。

■ 今年の梨は甘い……

今年の梨のできぐあいは「まあまあ」、値段は「少々高め」。さきごろ市内の梨生産農家がたんせいこめてつくった、梨の品評会を市役所で行ないました。

品評会には、84農家から約1000個の梨が出品され、糖度や皮の硬度を調べましたが、いずれも優秀なものばかり。糖度も平均10.5度と、今年の梨は甘いということです。

なお、市内の梨の生産高は、昨年が約1000トンで大部分が富士梨(長十郎)です。



⑨

8629隻が入港

田子の浦港が開港したのは昭和37年。この年の入港船は281隻で、総トン数は53636トンでした。ところが、45年になると入港船は8629隻で総トン数は6,013,259トンにのぼりました。

入港船の内訳は、図でもわかるようにほとんどが内航船で、外航船は

わずか208隻でした。しかし、総トン数は1,599,900トンで全体の26%を占めています。

外航船は14カ国208隻が入港しました。内訳は日本船が152隻、ソ連船21隻、リベリア船12隻、韓国船8隻の順になっています。

